

2021～2022年度

国際ロータリー会長 シェカール・メータ

2560地区ガバナー 高尾 茂典

高田ロータリー会長 中田 正

幹事 箕輪 賢一

事務局：新潟県上越市西城町2-10-25 大島ビル201号

TEL (025)526-3288 FAX (025)526-3534

メールアドレス：takadarc@joetsu.ne.jp

例会場：デュオ・セレソ TEL (025)526-3111

広報・会報・雑誌委員会：

齋藤祐介・星 則雄・西條英夫・猪股耐真男・鈴木陽一

国際ロータリー第2560地区
ガバナーテーマ

ロータリーを学び、
ロータリーを広げよう



高田ロータリークラブ
今年のスローガン

利他の心をもって、
超我の奉仕を

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

第 25 回例会 2 月 4 日(金)

No.23

会長挨拶

●中田 正

本日、北京冬季オリンピックが開幕いたします。

当地域からは関根学園出身で、当クラブで卓話もして頂いたスキークロスの古野慧さんが出場します。また、妙高市出身のスノーボード女子ハーフパイプの富田姉妹も出場します。日頃の練習の成果を出し切って、活躍されることを期待します。それぞれの選手をサポートする後援会組織もできました。是非、青少年奉仕の観点からも皆様からサポートをお願いできればと思います。

今月のロータリーの重点テーマは「平和構築と紛争予防の月間」です。まさに、「平和の祭典」のオリンピックの場において、それぞれの国を代表するアスリートが「世界を繋ぐ架け橋」となって相互理解を深め、世界平和の礎になってもらえたいと思います。

話は変わりますが、先月 1 月 22 日にオンラインで開催されました「第 2560 地区のクラブ会長会」の内容について 3 点ご報告させていただきます。

1 つめは、当高田クラブから「衛星クラブの地区分担金について、立ち上げ 3 年間にわたり、半額とすること」を議案上程しました。4 分の 3 以上の会長から賛同が得られ、承認されました。昨年の大島年度、中田年度、次年度の高橋年度まで適用されます。大谷パストガバナーにはたいへんご尽力いただきました。感謝申し上げます。

2 つめは、「分区再編 検討委員会」の立ち上げについて報告がありました。1 つの分区において総会員数が 100 名程度であり、ガバナー輩出も難しいなどの問題があるため、分区再編の要望があげられているとの報告がありました。今後、検討委員会において数年にわたって検討していくそうです。

最後になりますが、4 月 17 日に開催予定の地区大会が現地会場参加とオンライン参加のハイブリット形式で行われます。詳細は、案内が届き次第、ご紹介いたします。

本日の卓話は上越市消費者協会会長の浦壁澄子様からお話を頂きます。

出席報告

96.08%

メイクアップ

中田 正君・本山秀樹君 (1/22 第 1 回高尾年度会長会)

高坂光一君 (1/22 地区財団委員会)

齋藤俊幸君 (1/24 高田東 RC：卓話)

セレモニー

入会式



嶺村 武君

平安セレモニー(株)

執行役員調理事業部長



加藤公一君
(株)宇喜世 支配人

委員会報告

出席ニコニコ BOX

加藤公一君：本日よりまたお世話になります。
よろしくお願いいたします。

親睦委員会：2月のお誕生日各お祝い



社会奉仕委員会：オークション開催日程について
3月24日(木)18:30～ 会場 宇喜世

会員インフォメーション

渡邊 隆君：古野慧さん後援会について

幹事報告

配布物：週報No.22、ロータリーの友2月号、寄付金
領収書、抜粋のつづり

回覧物：ガバナー月信2月号、石田眼科ニュースレ
ター、うしだ屋/棚田の1俵オーナー募集、高田
駐屯地会報

報告：2/11 祝日休会日、2/18 短縮例会（昼例会）

3月の例会プログラム

例会日	プログラム	会場
3月4日	卓話者 陸上自衛隊高田駐屯地司令 一等陸佐 比嘉隼人様 演題 防衛講話	デュオ・セレッソ
3月11日	卓話者 新潟青陵大学 助教 村山和恵様 演題 未定	デュオ・セレッソ
3月16日	3クラブ合同例会(高田・新井妙高・高田東)	ロッテアライズ
3月18日	振替休会日	
3月24日	オークション	宇喜世
3月25日	振替休会日	

卓話

—ウイズコロナ社会で賢い消費者が未来を変える— ～エシカルという新しいものさし～

上越市消費者協会 会長 浦壁 澄子 様



新型コロナが急拡大している今日、社会のあり方、企業のあり方、社会との絆、コミュニケーション、ライフスタイル等々生活様式や価値観が大きく変化している。今こそ私達が主体的にこれからの社会を、地域を、未来を考え行動する時である。人と社会、地域、地球環境のことを配慮、考慮して作られたモノ、サービスを購入し消費することをエシカル消費というが、私達が商品、サービスを選択する際に安全、安心、価格だけでなく一步進んでエシカル消費というものさしで社会に主体的に参画し、行動することが持続可

能な消費と生産のパターンを構築し、より少ないモノでより大きなより良い成果を上げ、作る責任、使う責任を明確にし循環型経済へとつながっていくことを識るべきである。かつて私達の社会は大量のエネルギー資源を使い大量生産、大量消費で大量のゴミを捨ててきた。その結果、地球資源の枯渇、環境破壊、環境汚染が急速に進み地球の未来を危うくしている。資源効率の改善、廃棄物の削減、リサイクルの推進、食品ロスの削減等々、普段の生活の中でエシカル消費の意思決定と行動で地域を社会を活性化していく。勿論それに呼応した企業のあり方も問われ持続可能社会への対応が強く求められる。コロナ禍の拡大化、長期化はシンプルライフへの回帰、ステイホームによる消費動向は地域消費、地域経済、国内消費、国内経済へと波及しその大きな変化が社会の課題を解決する方向に向かい始めている今日、エシカル消費で持続可能な社会、未来の実現に企業とともに踏み出す時宜ではなかろうか。